



綾木峠付近の広葉樹林(中国自然歩道ルート)／バス停から徒歩約55分

## 綾木峠 (865.8m)

綾木峠は智頭町と八頭町(旧八東町)を結ぶ峠で、昔は生活道として利用されていた。以前は峠近くに鉢山があり、今もその面影を一部残す。峠周辺はコナラやブナの広葉樹林となっており、夏は緑、秋は鮮やかな紅葉を見せてくれる。晴れた日の峠からの遠景もまた格別。



## 杉の木村

本格カナディアンログハウスでの宿泊、キャンプ、ピクニック、溪流釣などファミリーでアウトドアを満喫できる。のんびりと日常から離れてリラックスしてみたい！

杉の木茶屋では山菜定食も堪能できる他、弁当の注文も可能。わら細工づくり体験にも挑戦したい(事前予約)。

杉の木村: Tel: 0858-75-3180 (開村は4月～11月)



杉の木村カナディアンログハウス



杉の木茶屋(鳴滝ルート)／スタート地点

## 鳴滝

杉の木村の奥にある高さ40mの滝。滝の周辺は広葉樹木に囲まれており、とても美しい景色が満喫できる。11月上旬は紅葉が見どころ。

鳴滝に至る途中には棚田跡や木地師の墓もあり、昔がしのばれる。



木地師の墓(鳴滝ルート)／杉の木村から徒歩約10分



鳴滝(鳴滝ルート)／杉の木村から徒歩約30分

わくわく体験

八河谷薬細工体験: 昔から伝わる八河谷の文化をその手で体験してみよう。要事前予約。購入可。杉の木村まで。

特産品ガイド

柿の葉寿司: 地元の特産品。お弁当で持っていき、自然の中で食べればさらに美味しい。要事前予約。杉の木村まで。



植林された棚田跡(鳴滝ルート)／杉の木村から徒歩約10分

# 八河谷～柿原 中国自然歩道 鳴滝エリア

かつての生活道・綾木峠。  
鳴滝では気軽に自然を満喫。

八河谷～柿原  
中国自然歩道ルート

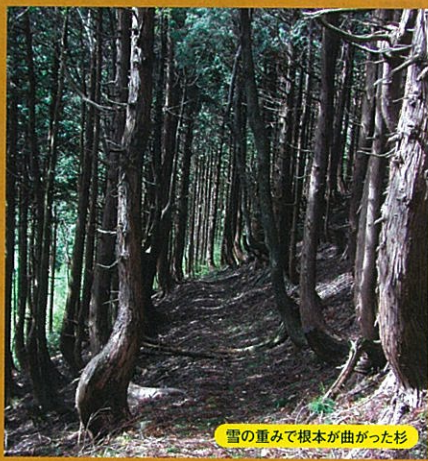
所要時間: 約2時間50分(片道)

鳴滝ルート

所要時間: 約30分(片道)

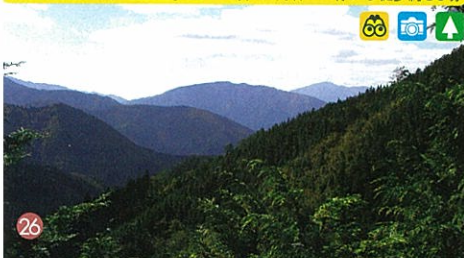
中級者に最適

ファミリー向き



雪の重みで根本が曲がった杉

綾木峠付近より(中国自然歩道ルート)／八河谷バス停から徒歩約50分



# 八河谷～柿原中国自然歩道・鳴滝エリア

八河谷～柿原中国自然歩道ルート 所要時間：約2時間50分(片道)

鳴滝ルート 所要時間：約30分(片道)

八河谷く柿原中国自然歩道・鳴滝エリア周辺マップ

**ポイント**  
八河谷く柿原ルートは全体的に歩きやすいコース。但し距離が長めなので無理のない計画を。標高865mの綾木峠付近は広葉樹の林で森林浴にも最適。鳴滝ルートは距離が短いのでファミリーでも気軽に散策を楽しめるコースになっている。

かつては生活の道として踏まれ続けた綾木峠。中国自然歩道として整備されているが所々にその面影を残す。鳴滝まではその美しい木々の間に棚田跡など歴史を垣間見れる。



参考タイム  
八河谷～柿原中国自然歩道ルート  
(所要時間：約2時間50分(片道))  
智頭駅=車で約20分=杉の木村=徒歩約10分=八河谷バス停=徒歩約45分=舗装路終了地点=徒歩約30分=綾木峠=徒歩約1時間25分=柿原集落  
鳴滝ルート(所要時間：約30分(片道))  
智頭駅=車で約20分=杉の木村=徒歩約30分=鳴滝  
※八河谷バス停=徒歩約10分=杉の木村



# 新田～大倉山エリア

初心者に最適

比較的易しいコース。山頂からは瀬戸内海が見えるかも？

新田～大倉山頂ルート

所要時間：約2時間40分



コース入口付近の風景/スタート付近

林道のコンクリートについた動物の足跡  
清流の里新田から徒歩約25分

# 清流の里 新田

清流の里 新田は、新田地区の拠点となる施設。地元の食材をふんだんに使った定食(弁当も可。要予約)や喫茶、研修、ロッジでの宿泊などの利用ができる。また併設の新田人形浄瑠璃の館では、明治初期から始められ今に受け継がれる人形浄瑠璃に関する資料展示と鑑賞(要予約)ができる。

清流の里新田:  
Tel: 0858-75-1994



清流の里 新田(スタート地点)

清流の里 新田では写真のような地元でとれた農産物も販売。



写真メディアアイ

絶景地

記念撮影に絶好

巨木や自然

文化財

食事や喫茶



大倉平木地師の墓/清流の里新田から徒歩約12分



こん棒石/清流の里新田から徒歩約10分

写真上:木地師の子供がこの石でヨモギをついで遊んでいたものが跡になって残ったもの

## 木地師の墓

文献等によると新田の奥には多くの木地師が暮らしていたようで、この大倉山ルートの中には木地師の墓や、屋敷跡、また木地師の子供が遊んだこん棒石など、その面影が多く残っている。



ルート途中から大倉山近くまである階段には約2400種の番号が振られている。これが終了すると頂上まであとひと踏んばり。



大倉山頂上から見た遠景/清流の里新田から徒歩約90分

# 新田・大倉山エリア

## 新田・大倉山ルート

所要時間:約2時間40分

新田~大倉山ルート  
(所要時間:約2時間40分)  
智頭駅=車で約15分(智頭急行山郷駅=徒歩約30分、新田バス停=徒歩約10分)=清流の里新田=徒歩約20分=県道合流地点=徒歩約15分=駐車場=徒歩約20分=登山道入口=徒歩約30分=反射板=徒歩約5分=大倉山山頂=同じルートで下山(約1時間10分)

**ポイント**  
標高1060メートルの山頂からは晴天時に南には瀬戸内海、北に日本海を見渡せる。  
頂上付近はシャクナゲの群落やドウダンツツジの自然群生地となっており、4~5月が見頃。

新田のスタートから大倉山の頂上までの往復でコースも完全に整備され初心者も安心のコース。



コンクリート舗装に残った動物の足跡

六体地蔵/清流の里新田から徒歩約1分

大倉山頂上から見た遠景/清流の里新田から徒歩約90分

中原・榎見周辺 24ページ掲載

清流の里 新田  
喫茶や食事、研修・宿泊施設を備える。弁当(予約)を買って、地元の方に頼めば、ルート途中まで送りもあるかも?

那岐山登山エリア 34ページ掲載

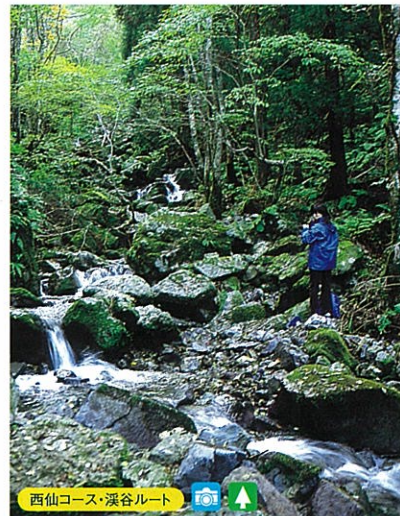
県道296号~大師峠~国道53号

## 西仙～山頂ルート

前半は沢に沿った歩きやすい道のり。730m付近で、しゃくなげの群落が見られる「尾根ルート」と、沢登りの「溪谷ルート」とに別れる。道もよく整備され、山頂までに3つの避難小屋がある。山頂手前には、ドウダンツツジも群生する。



西仙コース・尾根ルート



西仙コース・溪谷ルート



避難小屋



西仙コース・溪谷ルート



# 那岐山登山エリア

国定公園

本格的な登山コース

伊邪那岐命・伊邪那美命にゆかりの霊峰

東仙・西仙ルート

所要時間：約2時間55分

奥本～山頂ルート

所要時間：約2時間35分



西仙コース標高1000m付近、トンネルのような林が続く



山頂巨石の刻字

## 信仰の山「那岐山」

伊邪那岐命と伊邪那美命の二神が降りてきたことから「那岐山」と呼ばれるようになったと伝わる。かつては、大勢の行者が那岐山に登り修行の場としていたと思われる。また、西側に伊邪那岐命、東側に伊邪那美命と刻まれた巨石もあり想像をかき立てられる。ふもとの那岐神社はもと「那岐大神」という。



み役立ち

東仙・西仙コース側の登山道入口には、木の杖が用意されている。

**特産品ガイド** 特産「柿の葉ずし」：柿の葉を使った郷土料理。予約販売可。柿の葉亭 Tel：0858-78-0705 または、那岐特産品開発研究会 Tel：0858-75-1313 (杉のさと内)

# 那岐山登山エリア

**東仙・西仙ルート** 約2時間55分

**奥本～山頂ルート** 約2時間35分

**東仙・西仙ルート** (所要時間:約2時間55分)  
 智頭駅=車で約25分(マイクロバス通行可)=  
 登山口駐車場=徒歩約20分=山道入口=徒歩  
 約30分(溪谷・尾根ルートとも)=遊覧小屋=イ  
 徒歩約35分=那岐の家=徒歩約10分=山頂=  
 徒歩約15分=奥本・奈義町分岐点=徒歩約25  
 分=国有林道合流点=徒歩約5分=奥本コース  
 分岐点=徒歩約35分=登山口駐車場  
 ※那岐駅～登山口駐車場まで約7.5km

国道53号(奈義町津山市)

岡山県奈義町

**【周辺ルート】奥本～山頂ルート**  
 智頭駅=車で約15分(国道53号経由)  
 =奥山ルート登山口=徒歩約1時間  
 25分=奥本コース分岐点=徒歩約1  
 時間10分=山頂  
 ※那岐駅～奥山ルート登山口まで早  
 野集落経由2.7km(普通車通行可)

- 目標ポイント
- 🔍 見どころ
- 🌳 樹木や草花
- 📍 道標・地蔵
- 🏠 絶景ポイント
- 📄 案内看板
- 🚻 トイレ
- 🅑 駐車場
- 🛣 国道
- 🗺 県道
- ➡ アクセス



山頂の手前、標高1000メートル付近には、ドウダングツジの群落があり、6月上旬が見ごろ。

## ポイント

西に大山、北に鳥取砂丘、南には瀬戸内海の島々や四国まで見渡せる。

## 伊邪那岐命・伊邪那美命にゆかりの霊峰 県境にまたがる固定公園那岐山。

標高1255メートルの山頂からは、



### 那岐山

山頂は広く低木が続き日本海から瀬戸内海の島々まで眺望できる360度の大パノラマ

東仙コースの多くはかなり大規模な丸太階段

コースの両側の木に名札がかかっている。ゆっくり名前を確かめながら登ってみては?

急傾斜をジグザグに登る

木の枝が用意してあるのが、うれしい



このエリアはコースが多彩で分岐点が多いが、案内看板が多く分かりやすい。



**尾根ルートと溪谷ルート**  
 西仙コースは中ほどに2つのルートがあり楽しみ方に応じて歩ける。ひとつは、溪流に沿った「溪谷ルート」。小さな滝や岩石、大木など見どころも多い。また、尾根づたいに一気に登る「尾根ルート」は、巨木の根をクサリ伝いに登る急斜面や、豊富な植物に出会える道だ。

「那岐山シクナゲ、ドウダングツジの群生地」：那岐山の山頂手前、シクナゲ、ドウダングツジ(町の花)の群落があるがこの群生地は天然記念物に指定されている。



**法起菩薩堂**  
 松尾山の八号目に法起菩薩を祀るお堂がある。江戸後期、農業の害虫駆除に霊験あらたかな菩薩を大和国から勧請し、村の飢饉を救おうとしたといわれる。町指定文化財